

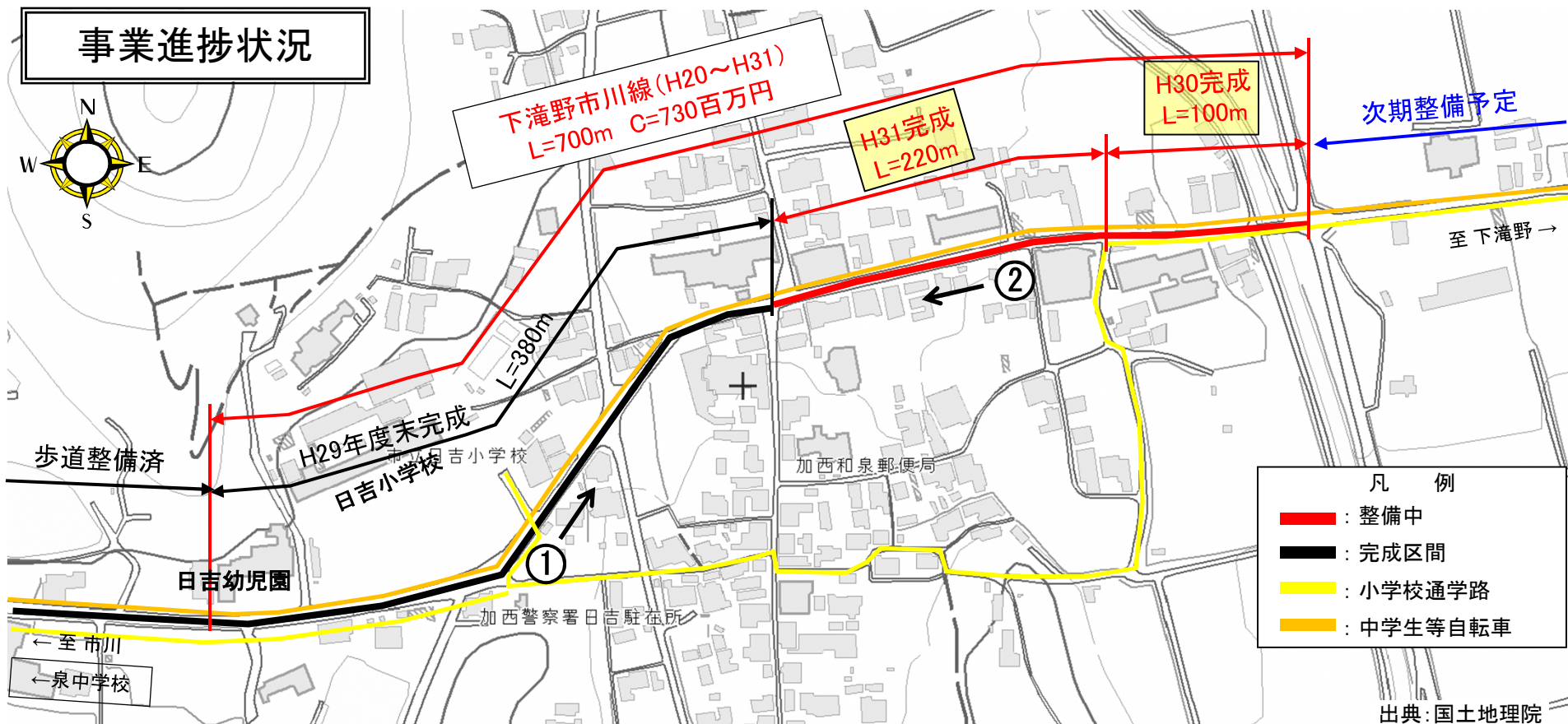
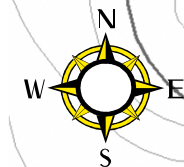
投資事業評価調書（継続：再評価 [第1回]）

部課室名	県土整備部土木局 道路保全課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	道路保全課長 小谷 和弘 (交通施設担当主幹 多田 孔充)	内線	4389 (4399)	
事業種目	交通安全 施設事業	新規評価年度	平成 19 年度		現計画	新規評価時点
事業名	交通安全施設等 整備事業 (一)下滝野市川線	事業採択年度	平成 20 年度	総事業費	7.3 億円	7.0 億円
		着工年度	平成 20 年度	内用地補償費	4.3 億円	5.4 億円
				完成予定年度	平成 31 年度	平成 24 年度
事業区間	加西市和泉町			進捗率 (内用補進捗率)	82% (92%)	—
				残事業費	1.3 億円	—
事業の目的				事業内容（新規評価時点）		
<p>○安全な自転車・歩行者通行の確保</p> <p>当該区間は、日吉小学校や泉中学校への通学に利用されているが、自動車交通が多いにもかかわらず、歩道が未整備であり、危険な状況となっている。</p> <p>このため、自転車歩行者空間を整備し、通学児童をはじめとする歩行者・自転車の安全を確保する。</p>				<p>【延長】 700m (700m)</p> <p>【構造規格】 3種3級 (3種3級)</p> <p>【計画幅員】 3.5m 片側 (3.5m 片側)</p> <p>【現況交通量 [H27 実測]</p> <p>自動車：4,010 台/日 (4,057 台/日)</p> <p>歩行者：31 人/12h (80 人/12h)</p> <p>自転車：86 台/12h (133 台/12h)</p> <p>【負担割合】 国：55%、県：45%</p>		
事業を取り巻く 社会経済情勢 等の変化	<p>【新規評価時点からの事業計画・総事業費・工期の変更概要】</p> <p>①用地買収において、当初想定していなかった地図訂正作業が必要となり、それに伴う用地境界確定の隣接地権者の同意が難航し時間を要した。残りの大型物件の移転が平成 30 年度末頃までかかるため、完成予定年度を平成 31 年度に変更する。</p> <p>②詳細設計の結果、当初予定していた用地買収範囲の変更による用地補償費約 1.1 億円減額する。</p> <p>③地図訂正作業及び既設横断歩道橋の一部改造、用排水路の追加等により測量試験費・工事費が約 1.4 億円増額し、総事業費が約 0.3 億円増額する</p>					
進捗状況	<p>①進捗率は、事業費ベースで 82%、用地補償進捗率は 92%(平成 29 年度末見込み)。</p> <p>②平成 29 年度末に、西側区間約 380m が完成予定。</p> <p>③残る東側区間約 320m についても、用地買収、物件移転完了箇所から順次工事を実施。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
審査会意見 (H19) 及び 対応方針	【審査会意見】 新規着手妥当 意見なし			【対応方針】 —		
(1) 必要性	<p>①沿道には、日吉小学校・泉中学校・日吉幼稚園があり、人家連坦地区である。</p> <p>②全区間が泉中学校の通学路に指定されているが、歩道が無く危険である。</p> <p>③小学校の通学路になっている市道は幅員も狭く、通学時には歩行者と自転車が錯綜するなど危険な状況にあるため、整備後は県道が小学校の通学路にもなる。</p> <p>④当該区間内で、過去 5 年に交通事故が、7 件発生している。</p>					
(2) 有効性 ・効率性	①自転車歩行者空間の整備により、通学児童等の安全な通行が確保される。					
(3) 環境 適合性	①歩道舗装には、雨水が地中に浸透する透水性舗装を採用し、地下水涵養を図る。					
(4) 優先性	<p>①学校関係者、地元住民、道路管理者、警察等で実施した通学路合同点検において、当該区間での通学児童の危険性が指摘されており、加西市の「通学路交通安全プログラム」に本事業が位置付けられている。</p> <p>②加西市や地元住民からも早期整備を望む強い要望がある。</p>					
再評価 の結果	継続	左の理由	事業の必要性は事業採択時と変わらず、加西市の通学路交通安全プログラムにも本事業が位置付けられていること、また、用地契約が完了していることなど、継続して事業実施する必要がある。			

事業進捗状況概要図（継続：再評価）

事業名	交通安全施設事業		路線名	一般県道 下滝野市川線	
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="159 224 478 1388" style="width: 30%;"> <h3 style="text-align: center;">位置図</h3> <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: purple; margin-right: 5px;"></span> : 高速道路</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: green; margin-right: 5px;"></span> : 県道</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: orange; margin-right: 5px;"></span> : H20～</li> <li><span style="display: inline-block; width: 15px; height: 10px; background-color: red; margin-right: 5px;"></span> : H30～</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: yellow; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></span> : 公共施設等</li> <li><span style="display: inline-block; width: 10px; height: 10px; background-color: blue; border-radius: 50%; margin-right: 5px;"></span> : 交通量調査位置</li> </ul> </div> <div data-bbox="478 224 1436 1388" style="width: 65%;"> </div> </div>					
		事業進捗状況・予定		整備効果	
<p style="text-align: center;">全体 (H20～30)</p>	<p>【事業費＝7.3 億円】</p> <p>延長 700m</p> <p>用地取得面積：約2,880m<sup>2</sup></p> <p>物件補償件数：21 件</p>		<p>日吉小学校・泉中学校の通学利用をはじめとする歩行者・自転車の安全が確保出来る。</p>		
<p>事業採択～ 再評価まで (H20～H29)</p>	<p>【事業費＝6.0 億円】</p> <p>①事業進捗率 82%</p> <p>②用地補償進捗率 92%</p> <p>H29 一部完成（西側 約380m）</p>		<p>一部完成により、一部が通学路に振り替えられるなど、歩行者・自転車の安全が確保できる。</p>		
<p>今後2年間 予定 (H30～31)</p>	<p>【事業費＝1.3 億円】</p> <p>H30 物件移転完了 一部完成（約100m）</p> <p>H31 全線供用</p>		<p>一連の歩行者・自転車の安全が確保できる。</p>		

# 事業進捗状況



出典：国土地理院

①一部完成により通学児童の安全を確保



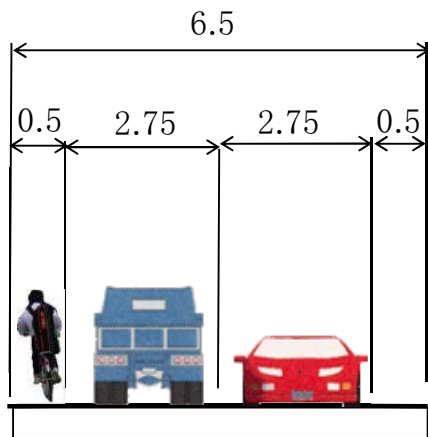
②歩道が無く通学児童が危険



## 過去5年間(H24~28年)の交通事故発生件数

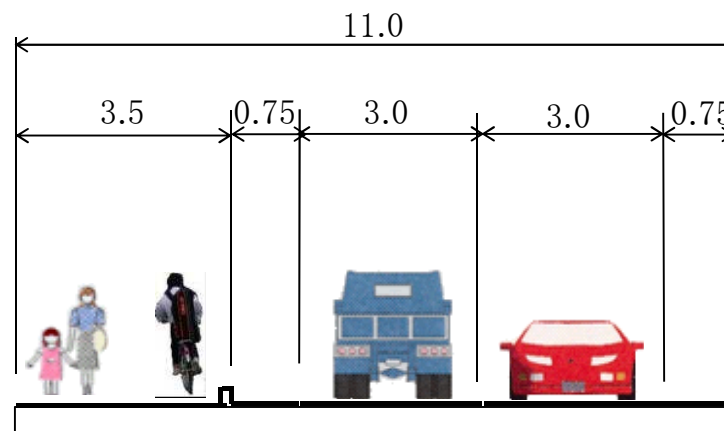
年	発生件数
24	-
25	-
26	-
27	4
28	3
計	7

現況断面図



単位 (m)

計画断面図



単位 (m)

■ 継続事業

当初計画及び実施・計画工程

工 種	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31
測量・設計	■											
用地取得		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
本工事			■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

■ : 当初計画  
■ : 実施・計画